

取扱説明書



エアーチッパー

注文コード:08550036

使用空気圧力	0.62MPa	空気接続口	6.35mm	無負荷打撃数	5000
--------	---------	-------	--------	--------	------

ピストンストローク	33mm	ホース径	9.5mm
-----------	------	------	-------

このたびは、エアーチッパーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

▲ 警告 事故、けがなどを防ぐためご使用前に必ずお読みください。

- 作業場所では、保護メガネ・防音保護具を着用してください。
- 本製品を、ガソリン、ナフサ、洗浄溶剤などのような可燃性物質の近くで作動させないでください。作業は可燃物のない清潔でよく換気された場所で行ってください。
- 落とした工具や衝撃を受けた工具、使用により損傷した工具は決して使用しないでください。可動部品に緩みや破損がないか必ずチェックしてください。緩みや破損は工具の動作に影響をおよぼします。
- 本製品の取付け、操作、保守を行う前に、本取扱説明書を読み理解してください。本取扱説明書を安全で取り出しやすい場所に保管してください。
- 工具に油を差す、または、その他の保守作業を行う、アタッチメントを交換するときは、必ずエアーホースを切り離してください。
- 長時間の使用を避けてください。反復動作や振動は手や腕に害をおよぼすことがあります。
- 酸素や反応ガスを使用しないでください。爆発が起こることがあります。
- 最適性能を得るため、毎日油を差してください。

安全規則

▲ 警告

1. 推奨条件の圧縮空気のみを使用してください。
2. 本製品に機能不良が見られるときは、直ちに使用を停止し、保守および修理を手配してください。
3. バランサーまたは他の支援器具と一緒に工具を使用している場合は、支援器具がしっかりと固定されているようにしてください。
4. 本製品は電氣的に絶縁されていません。通電中の電気に接触する可能性がある場合は、決して使用しないでください。
5. 本製品を使用する際は、必ず安定した足場および位置を選び、工具使用中に発生する何らかの力や作用の力に対抗するため、しっかりと工具をつかんでください。
6. テープ、ワイヤーなどを用いてオン/オフトリガーを運転位置に固定しないでください。
7. アタッチメントの取付け、調節、取外しを行う前に、必ずエアの供給を切り、トリガーを押し下げ、供給ホース内のエアを開放してください。
8. ホースや取付部品に損耗がないかどうか定期的にチェックしてください。
ホースを持って工具を運ばないでください。エアホースが接続された状態の工具を持ち運ぶ場合は、必ずオン/オフトリガーから手を放しておいてください。
9. 工具の排気が問題を生じることや、他の人に当たることがないように注意してください。
10. 動作が停止しない限り、決して工具を下に置かないでください。

エアの供給

トリガーを完全に押し下げた状態で工具を作動させているときに工具で測定される空気圧が0.62Mpaとなるような清潔で潤滑されたエアホースを使用してください。工具へのエアの供給を切り、そのあと、工具のトリガーを押し下げて管の圧抜きを行ってください。エアホースを切り離し、取入口のプッシングに小さじ1杯(5 mL)の適当なエアツール用オイルを注ぎ入れてください。再び工具をエアホースに接続し、数秒間、ゆっくりと工具を作動させ、エアに潤滑油を循環させてください。工具をよく使用する場合は毎日工具にエアツール用オイルを差してください。そうでない場合は、動きが遅くなり始めたときやパワーがなくなり始めたときにエアツール用オイルを差してください。

保守

クリーニング

確実に適切に機能するように、定期的に工具のクリーニングを行うことをおすすめします。

- a) エアホースから工具を切り離してください。
- b) すべての留め具を取外してください。
- c) エアブローガンを用いて溜まっている屑を取出し、きれいにしてください。
- d) 毎日、適当なエアツール用オイルを工具に差してください。
- e) 毎日、エアコンプレッサのエアタンクに溜まった水を捨て、送気管に水分が溜まるのを防いでください。

潤滑

毎日、工具に油を差してください。

- a) 毎回、使用前に、エアツール用オイルを数滴、工具の空気吸込口に垂らし入れてください。
- b) 洗浄油はOリングを損傷し、工具の機能不良を引き起こす可能性があるため、決して使用しないでください。
- c) 排気口から出てくる余分な油をふき取ってください。余分な油は工具のOリングを損傷します。

警告 エンジン内の余分な油は排気口からただちに放出されます。排気口は必ず人や物から離れた方向に向けてください。